

教 科 国語

科 目 国語表現 I

授業科目	国語表現 I	単位数	2 単位	履修形態	必修 ・ 選択
履修学年	高校 2 年 ICT 科	コース	全コース		
教科書	チェック&ワーク (第一学習社) 文章トレーニングノート (第一学習社) 言語ドリル「聞く・話す」(第一学習社)	副教材	現代社会資料集 (第一学習社) キーワードファイル (第一学習社) チャレンジノート (第一学習社) 現代を知るプラス (第一学習社) すらら (Eラーニング教材)		
授業概要	小論文に必要な基礎知識を確認し、現代における諸問題をテーマごとに整理しながら小論文を書く基本の確立を目指す。習得した知識を消化し、文章を書く際のルールを意識しながら、自分の意見を表現する。				
授業内容 および 到達目標		単 元	目 標	教 材	
	1 学 期	小論文講習	自分の考えを持って論理的に文章をまとめる。	チャレンジノート	
		文章作法入門	文章を書くルール・マナーを確認し、身につける。	文章トレーニングノート	
		現代の諸問題	情報を収集、整理・選択する力をつける。 現代社会の問題についての知識を増やす。	チェック&ワーク 現代社会資料集	
			言語力・論理力	言語の基礎である論理力を身につける。 相手の言いたいことを理解する	ドリル「聞く・話す」
	2 学 期	小論文講習	自分の考えを論理的な文章にまとめる。 相手の意見を尊重する態度を養う。	チャレンジノート	
		現代の諸問題	情報を収集、整理・選択する力をつける。 現代の社会の問題やニュースに関心を持つ。	チェック&ワーク 現代社会資料集	
			言語・論理力	言語の基礎である論理力を身につける 聞き手にわかりやすく説明する	ドリル「聞く・話す」 すらら
	3 学 期	現代の諸問題	情報を収集、整理・選択する力をつける。 現代の社会の問題やニュースに関心を持つ	チェック&ワーク 現代社会資料集	
			言語・論理力 トレーニング	言語の基礎である論理力を身につける 場、相手に適した文章を書く力を得る。	ドリル「聞く・話す」

教 科 国語

科 目 現代文 A

授業科目	現代文 A	単位数	2 単位	履修形態	必修 ・ 選択
履修学年	高校 2 年 ICT 科	コース	全コース		
教科書	新編国語総合 (大修館書店) 現代文 A (大修館書店)	副教材	新総合図説国語 (東京書籍) 新編国語 総合課題ノート (大修館書店) 現代文 A 学習課題ノート (大修館書店)		
授業概要	国語や言語文化に対する関心を深め、伝統文化への理解を図る。様々な文章を読み、読む能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで表現し、伝えあう姿勢を育てる。また、読書することによって人生を豊かにする。				
授業内容 および 到達目標	単 元	目 標		教 材	
1 学 期	漢詩	唐代の詩の名作を読み、漢詩の形式と表現を理解する。朗読や暗唱をを通し、漢文を味わう。		「春望」他	
	古典	古典の物語に親しみ、日本文化を尊重する態度を養うとともに、その内容を理解する力を養う。		「伊勢物語」「枕草子」「奥の細道」	
	小説	・随想や小説の読み方の多様さ、受け取る印象の多彩さを感じる。		「水かまきり」	
2 学 期	随想 評論	論理的な文章について、論理の展開や要旨を的確にとらえる。 文章を読むことで、人間、社会などについて自分の考えを深めたり発展させたりする。		「迷う力のすばらしさ」「どんなひとになりたかったか？」他	
	漢字検定	漢字検定で目標に模擬問題に取り組む。		漢字検定	
3 学 期	小説	文学的な文章について、人物像、情景、心情などを的確にとらえ、表現を味わう。		「山月記」	
	詩歌	詩歌に親しみ、それぞれの形式や表現の特色を理解する。作品に歌われている情景や心情を表現に即して読みわう。		「小諸なる小城のほとり」他	

教 科 外 国 語 科 目 コミュニケーション英語Ⅱ

授業科目	コミュニケーション英語Ⅱ	単位数	3単位	履修形態	必修 ・ ①選択	
履修学年	高校2年 ICT科	コース	全コース			
教科書	LANDMARK English Communication Ⅱ (啓林館)	副教材	予習ノート、ワークブック HyperListening 英検問題集			
授業概要	英語を通じて積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力を養う。 実用英語技能検定2級・準2級や、全商英検1級・2級の取得を目指す。					
授業内容	単 元	目 標		教 材		
および 到達目標	1 学 期	Lesson 1 ~ Lesson 3 英検対策	名前の文化、国枝慎吾、セントパナードについて理解を深める。 省略や、疑問詞 to 不定詞、完了形・受動態の分詞構文、形式目的語を理解し使うことができる。 2級・準2級の取得を目指す。		LANDMARK HyperListening 英検問題集	
	2 学 期	Lesson 4 ~ Lesson 7	チャンネル、愛の科学、ガウディ、硫黄島について理解を深める。 分詞、that 節、関係副詞、動名詞を理解し使うことができる。		LANDMARK HyperListening 英検問題集	
	3 学 期	Lesson 8 ~ Lesson 10	江戸時代、硫黄島、フェルメール、ブータンについて理解を深める。 関係代名詞の非制限用法、仮定法、協調構文を理解し使うことができる。		LANDMARK HyperListening	

教 科 外 国 語

科 目 英 語 表 現 I

授業科目	英語表現 I	単位数	2 単位	履修形態	必修 ・ 選択
履修学年	高校 2 年 ICT 科	コース	全コース		
教科書	MY WAY English Expression I (三省堂)	副教材	FOREST、POWER STAGE (桐原) 英検問題集、全商英検問題集 ワークブック		
授業概要	<p>基本的な文法や表現を理解し、書いたり話したりする能力を養う。</p> <p>また、既習の文法や表現を使い、英語で表現する能力を養う。</p> <p>実用英語技能検定 2 ～ 3 級や、全商英語検定 1 ～ 3 級の取得を目指す。</p>				
授業内容 および 到達目標	単 元	目 標		教 材	
	1 学期 Lesson1 ～Lesson 9	<p>現在形、過去形、未来形、現在完了形を理解し使うことができる。</p> <p>助動詞、受動態を理解し使うことができる。</p>		<p>MY WAY</p> <p>FOREST</p> <p>新聞、インターネット等</p>	
	2 学期 全商英検対策 Lesson 10 ～ Lesson 13	<p>1 ～ 3 級の取得を目指す。</p> <p>不定詞、動名詞、分詞を理解し使うことができる。</p>		<p>MY WAY</p> <p>FOREST</p> <p>全商英検問題集</p> <p>新聞、インターネット等</p>	
	3 学期 英検上級対策 Lesson 14 ～ Lesson 15 実践演習	<p>2 ～ 3 級の取得を目指す。</p> <p>分詞、知覚動詞を理解し使うことができる。</p> <p>実生活の中から様々な英語に触れる。</p>		<p>MY WAY</p> <p>FOREST</p> <p>英検問題集</p> <p>新聞、インターネット等</p>	

教 科 芸 術 科 目 音 楽

授業科目	音楽	単位数	1 単位	履修形態	必修 ・ 選択
履修学年	高校 2 年 ICT	コース	全コース		
教科書	音楽之友社		副教材		
授業概要	歌唱、器楽、鑑賞、楽典を学ぶことにより、音楽を正しく理解する。				
授業内容 および 到達目標		単元	目標		教材
	1 学 期	青春と音楽	歌唱技能の基本を身に付けたり、楽典の基礎を学び、音楽の楽しさを味わう。		翼をください 見上げてごらん夜の星を
		器楽	リコーダーの演奏を通して、楽器を演奏する楽しさや、アンサンブルの楽しさを味わう。		愛のあいさつ
		日本の音楽	日本の様々な音楽に触れ、その良さや美しさを感じ取る。		小さな空 夏の思い出
	2 学 期	合唱	歌詞の内容からイメージをもって歌い、パートの役割を理解しながら表現する。		合唱曲
		世界の音楽	歌唱や鑑賞を通して、世界の音楽の種類や特徴を理解し、そのよさを味わう。		O sole mio ホール・ニュー・ワールド
		劇音楽	劇や物語と音楽の結びつきを理解し、イメージをもって表現したり鑑賞したりする。		民衆の歌
	3 学 期	アンサンブルを楽しもう	声によるリズムアンサンブルを通して、他者とのアンサンブルを楽しむ。また、グループでオリジナルの言葉のリズムを考え、それらの組み合わせを生かして創作する。		野菜の気持ち
		独唱	歌詞の内容や楽曲の背景を研究し、必要な技能を身に付け、イメージをもって表現したり、楽曲の価値を感じ取る。		野ばら 喜びの歌

教 科 美 術

科 目 美 術 I

授業科目	美術 I		単位数	1 単位	履修形態	必修 ・ 選択
履修学年	高校 2 年 ICT科		コース			
教科書	美術 I		副教材			
授業概要	美術作品制作や鑑賞を通して、美術に対する興味・関心を高める。					
授業内容 および 到達目標		単 元	目 標		教 材	
	1 学 期	・ 美術との出会い	・ 発見や感動の大切さを再認識し、授業に対する興味 関心をさらに高める。		教科書	
		・ 鉛筆デッサン	・ ものの見方や感じ方を深め、対象の形や材質の特徴 を鉛筆で表現する。		自画像	
	2 学 期	・ 自己を描く	・ 内面を見つめながら、自分の姿を捉えて自画像に表 すことができる。		アクリル絵の具	
		・ ポスター	・ テーマにふさわしい表現方法や図柄を考え、ポスタ ーをデザインする。		アクリル絵の具	
	3 学 期	・ 世界の美術	・ 各国の世界遺産の歴史や美術価値を理解し、それら に対する興味・関心を深め、視野を広げる。		教科書	

教科 社会科(公民) 科目 現代社会

授業科目	現代社会	単位数	2 単位	履修形態	必修
履修学年	高校 2 年 ICT科	コース	全コース		
教科書	実教出版 最新 現代社会	副教材	第一学習社 最新現代社会資料集 最新 現代社会演習ノート		
授業概要	一年間を通じて、現在、世界・日本の中で起こっている様々な問題を理解することで一人の地球人としてどんな行動ができるのか考察する。				
授業内容 および 到達目標	単元	目標		教材	
	1 学 期	第 1 部 1 章～3 章	この章では我々が生活している社会ではどのような課題・問題があるのか理解する。		教科書、準拠 ワーク
	2 学 期	第 2 部 1 1～3 章	この章では、自分らしく、一人の人間として、日本人としていかに生きていくのかを考察する。		教科書、準拠 ワーク
	3 学 期	第 2 部 2 1～3 章	この章では、憲法や政治の仕組みを知ること で現在の憲法・政治の課題を考察する		教科書、準拠 ワーク

教 科 商 業 科 目 管 理 会 計

授業科目	管理会計	単位数	3単位	履修形態	必修・選択
履修学年	2年	コース	特進コース		
教科書	工業簿記1級テキストI II (立志舎)	副教材	過去問題集		
授業概要	<p>原価計算の知識を基礎に、CVP分析や業務意思決定・設備投資の意思決定などの方法を学びます。また、原価管理や予算財務諸表の作成など、高度な原価計算の研究をします。資格取得目標は、日商簿記検定1級・全経簿記上級です。</p>				
授業内容および到達目標		単 元	目 標	教 材	
	1 学 期	総合原価計算 標準原価計算 個別原価計算 部門別原価計算	非度外視法・減損の平均的安定的発生や歩留配合差異・追加配賦・複数基準配賦法・階梯式配賦法・連立方程式法について学習する。2級よりも計算が複雑になるのであきらめないでほしい。	テキスト 問題	
		直接原価計算 全部原価計算 CVP分析	直接原価計算と全部原価計算の違い・固定費調整・短期利益計画・最適セールス・ミックス・利益差異などの基礎的な計算方法を習得させる。	テキスト 問題	
	2 学 期	業務意思決定 構造的意思決定 戦略的意思決定	自製か購入・設備投資・活動基準・品質管理・ライフサイクルコストなどの経営意思決定を行うための基礎的な知識と技術を身につける。 消費者のニーズにあった製品＝市場で売れる製品の製造・販売の決定を学習する。	テキスト 問題	
		3 学 期	答練問題 過去問題	さまざまな問題を解き、苦手問題の認識・克服や問題を解くスピード力をつける。 簿記検定等資格取得を目指す。	テキスト 問題

教 科 商 業 科 目 財 務 会 計 I

授業科目	財務会計 I (前期科目)	単位数	4 単位	履修形態	○ 必修 ・ 選択
履修学年	2 年	コース	特進コース		
教科書	商業簿記 1 級テキスト I II (立志舎)	副教材	過去問題集		
授業概要	<p>企業会計の役割や制度及び財務諸表の作成に関する知識と技術を勉強します。財務諸表の意味や役割を理解するとともに、財務諸表から得られる情報を活用する能力を身に付けます。会計理論と貸借対照表・損益計算書・株主資本等変動計算書の作成が中心です。</p>				
授業内容および到達目標		単 元	目 標	教 材	
	1 学 期	企業会計原則	一般原則・損益計算書原則・貸借対照表原則の知識を身につける。	テキスト	
		会計諸則	退職給付に係る会計基準・研究開発費等に係る会計基準・税効果会計に係る会計基準・金融商品に係る会計基準・外貨建取引等会計処理基準・リース会計に係る会計基準・財務諸表規則の理解を深める。	テキスト 問題集	
		個別計算	現金預金・金銭債権・棚卸資産・固定資産・償却原価法・自己株式・貸倒見積額・減価償却の基礎的な計算を習得する。	テキスト 問題集	
	2 学 期	財務諸表	貸借対照表・損益計算書・株主資本等変動計算書の作成ができるようにする。	問題集	
		連結財務諸表	連結財務諸表の目的と範囲・連結財務諸表作成の基礎的な知識と技術を身につける。	テキスト 問題集	
	3 学 期	財務諸表	貸借対照表・損益計算書・株主資本等変動計算書の作成ができるようにする。	問題集	
		財務諸表の活用	財務諸表分析の意義・財務諸表の見方の基礎を身につける。	テキスト 問題集	

教 科 商 業 科 目 財 務 会 計 Ⅱ

授業科目	財務会計Ⅱ	単位数	4単位	履修形態	必修・選択
履修学年	2年	コース	特進コース		
教科書	商業簿記1級テキストⅠⅡ（立志舎）	副教材	過去問題集		
授業概要	ビジネスにおける会計の現状について理解します。実務に対応した会計に関する知識と技術を勉強し、ビジネスの諸活動に活用する能力と態度を身に付けます。連結会計・外貨建取引・資金情報・税効果会計などが学べます。資格取得目標として、日商簿記検定1級・全経簿記検定上級・全商会計実務検定にチャレンジします。				
授業内容および到達目標		単 元	目 標	教 材	
	1 学 期	企業会計原則	財務諸表の作成・表示 収益費用アプローチ 資産負債アプローチ 当期純利益と包括利益の知識を身につける。	テキスト 問題集	
		個別計算	リース会計・減損会計・資産除去債務 外貨建取引・金融商品 負債会計・純資産会計 税効果会計 基礎的な計算を習得する。	テキスト 問題集	
	2 学 期	財務諸表	貸借対照表・損益計算書 株主資本等変動計算書 キャッシュ・フロー計算書 組織再編・合併会計 連結財務諸表の作成と表示	テキスト 問題集	
		3 学 期	財務諸表の活用	企業価値 財務諸表分析 株価の知識と技術を身につける。	テキスト 問題集

教 科 商 業

科 目 管理会計

授業科目	管理会計	単位数	3単位	履修形態	必修・選択
履修学年	高校2年 ICT科	コース	推薦進学コース		
教科書	工業簿記テキスト (TAC)	副教材	工業簿記問題集 (TAC) 各簿記検定問題集 (実教出版)		
授業概要	<p>工業簿記の基礎を身につけさせる。 製品を製造する過程をイメージさせ、製品製造や販売した仕訳を学習する。 原価計算の必要性を理解させ、意思決定をさせる。</p>				
授業内容 および 到達目標	単 元	目 標		教 材	
1 学 期	工業簿記の基礎	工業簿記の基本を身につけさせる。 工業簿記の流れを理解し T フォームへの転記ができるようにさせる。		テキスト	
	各費目別計算	製品との関連を理解させ、工業簿記の流れを定着させる。 各費目別への分類わけを理解しているか。		テキスト 問題集 過去問題	
2 学 期	原価計算	原価計算の目的を理解させ、それぞれの原価計算の違いを理解させる。		テキスト 問題集 過去問題	
	標準原価計算	標準原価計算の意義を理解させ、原価管理の目的を理解させる。また、差異分析ができるようにさせる。		過去問題 テキスト 問題集	
3 学 期	決算手続き	決算手続きを理解させ、製造原価報告書を作成する事を目指す。		過去問題 テキスト 問題集	
	直接原価計算	接原価計算と全部原価計算との違いを理解させる。 また、損益分岐点分析を行い利益計画が立てられるようにさせる。		問題集 過去問題	

教 科 商 業 科 目 ビジネス情報

授業科目	ビジネス情報	単位数	2単位	履修形態	必修・選択
履修学年	高校2年 ICT科	コース	推薦進学コース		
教科書	ビジネス情報（実教出版）	副教材	各検定問題集		
授業概要	ビジネスに関する情報を処理するためのソフトウェアを利用した知識と技術を身につけさせる。				
授業内容 および 到達目標	単 元	目 標		教 材	
1 学 期	文書作成	全商ビジネス文書検定の2級および1級の取得を目指す。		全商ビジネス文書検定問題集	
	情報通信ネットワーク	有線LAN、無線LAN、インターネット及びイントラネットの概要を学習し、基礎的な設定方法等を学習する。また、クラウドの知識も同時に学習する。			
	表計算ソフトウェアの活用	表計算ソフトを使ってのデータの集計と分析 PCを活用し、実践を繰り返し処理方法を理解させる。 全商情報処理検定に取り組む。		ビジネス情報（実教） 全商情報処理検定問題集	
3 学 期	データベースソフトウェアの活用	データベースについて「テーブル」「クエリ」「フォーム」「レポート」それぞれのしくみを理解させる。 全商情報処理検定に取り組む。		全商情報処理検定問題集	

教 科 商 業

科 目 簿 記

授業科目	簿記演習	単位数	2単位	履修形態	必修・選択
履修学年	高校2年 ICT科	コース	推薦進学コース		
教科書	商業簿記テキスト (TAC)	副教材	簿記検定問題集 (実教出版)		
授業概要	簿記の取引や仕組みについて理解させ、仕訳や決算処理など簿記に関する知識と技術を習得する。 適正な会計処理を行う能力を育てる。				
授業内容 および 到達目標		単 元	目 標	教 材	
	1 学 期	簿記の基礎	簿記の目的や仕組みを明らかにし、簿記の重要性を理解させる。	テキスト 問題集	
		仕訳と取引	簿記の要素と相互関係を確認し、取引内容と勘定の理解から仕訳の習熟をはかる。		
		試算表	種類や手順、特徴を明らかにする。作成方法を理解させ、正確な会計処理を目指す。	テキスト 問題集	
	2 学 期	決算	決算の重要性を理解させ、手続き全体の流れや記帳方法を習得する。 手順の理解と決算処理を正確に行う技術を身につける。	テキスト 問題集 過去問題	
		精算表	決算処理を適正に行い、適正な会計処理を行う。		
3 学 期	帳簿	分類の理解やそれぞれの記帳方法を十分に理解させ習熟させる。 取引からの手順と、正確な記帳や計算が行えるよう目指す。	問題集 過去問題		
	伝票	集計、転記の方法を理解し正確に作成する。			

教 科 商 業

科 目 財 務 会 計 I

授業科目	財務会計 I	単位数	4 単位	履修形態	必修・選択
履修学年	高校 2 年	コース	ビジネスコース		
教科書	商業簿記テキスト (立志社)	副教材	簿記検定問題集 (実教出版)		
授業概要	<p>簿記の取引や仕組みについて理解させ、仕訳や決算処理など簿記に関する知識と技術を習得する。</p> <p>適正な会計処理を行う能力を育てる。</p>				
授業内容 および 到達目標		単 元	目 標	教 材	
	前 期	簿記の基礎	簿記の目的や仕組みを明らかにし、簿記の重要性を理解させる。	テキスト 問題集	
		仕訳と取引	簿記の要素と相互関係を確認し、取引内容と勘定の理解から仕訳の習熟をはかる。		
		試算表	種類や手順、特徴を明らかにする。作成方法を理解させ、正確な会計処理を目指す。	テキスト 問題集	
	後 期	決算	決算の重要性を理解させ、手続き全体の流れや記帳方法を習得する。 手順の理解と決算処理を正確に行う技術を身につける。	テキスト 問題集 過去問題	
		精算表	決算処理を適正に行い、適正な会計処理を行う。		
帳簿		分類の理解やそれぞれの記帳方法を十分に理解させ習熟させる。 取引からの手順と、正確な記帳や計算が行えるよう目指す。	問題集 過去問題		
伝票	集計、転記の方法を理解し正確に作成する。				

教 科 商 業

科 目 簿 記

授業科目	簿記	単位数	2単位	履修形態	必修・選択
履修学年	高校2年	コース	ビジネスコース		
教科書	商業簿記テキスト (立志社)	副教材	簿記検定問題集 (実教出版)		
授業概要	<p>簿記の取引や仕組みについて理解させ、仕訳や決算処理など簿記に関する知識と技術を習得する。</p> <p>適正な会計処理を行う能力を育てる。</p>				
授業内容 および 到達目標		単 元	目 標	教 材	
	前 期	簿記の基礎	簿記の目的や仕組みを明らかにし、簿記の重要性を理解させる。	テキスト 問題集	
		仕訳と取引	簿記の要素と相互関係を確認し、取引内容と勘定の理解から仕訳の習熟をはかる。		
		試算表	種類や手順、特徴を明らかにする。作成方法を理解させ、正確な会計処理を目指す。	テキスト 問題集	
	後 期	決算	決算の重要性を理解させ、手続き全体の流れや記帳方法を習得する。 手順の理解と決算処理を正確に行う技術を身につける。	テキスト 問題集 過去問題	
		精算表	決算処理を適正に行い、適正な会計処理を行う。		
帳簿		分類の理解やそれぞれの記帳方法を十分に理解させ習熟させる。 取引からの手順と、正確な記帳や計算が行えるよう目指す。	問題集 過去問題		
伝票	集計、転記の方法を理解し正確に作成する。				

教 科 商 業 科 目 ビジネス情報

授業科目	ビジネス情報	単位数	2単位	履修形態	必修・選択
履修学年	高校2年 ICT科	コース	ビジネスコース		
教科書			副教材	各検定問題集（日検）	
授業概要	ビジネスに関する情報を処理するためのソフトウェアを利用した知識と技術の習得				
授業内容 および 到達目標	単 元	内 容		教 材	
1 学 期	表計算ソフトウェアの活用	表計算ソフトを使ってのデータの集計と分析		日検表計算問題集	
	文書作成	タッチタイピング・速度練習・文書作成		日検日本語ワープロ問題集	
2 学 期	表計算ソフトウェアの活用	表計算ソフトを使ってのデータの集計と分析		日検表計算問題集	
	文書作成	タッチタイピング・速度練習・文書作成		日検日本語ワープロ問題集	
3 学 期	まなびや	オンラインショッピングモール 「まなびや」に参加し、企業を担当。 営業活動・HP更新作業・業務日報の作成			

教 科 商 業

科 目 マーケティング

授業科目	簿記演習	単位数	3単位	履修形態	必修・選択
履修学年	高校2年	コース	ビジネスコース		
教科書	マーケティング（実教出版）		副教材	検定問題集（実教出版）	
授業概要	現代市場のメカニズムを理解して、社会・企業・消費者等のさまざまな観点からマーケティングについて学ぶ。				
授業内容 および 到達目標		単 元	内 容		教 材
	1 学 期	現代市場と マーケティング 市場調査 消費者行動	現代市場の特徴 マーケティングの概要 市場調査の意味・市場調査の手順 実態調査の方法・市場調査の実習 消費者行動と購買・購買意思決定過程 製品のライフサイクルと普及		キスト 問題集
	2 学 期	販売計画 製品計画 仕入計画と 商品管理	販売計画と販売予測 販売計画の立案・実施・統制 製品計画の概要 製品ミックスと製品政策 仕入計画・商品管理		テキスト 問題集 過去問題
	3 学 期	販売価格 販売経路 販売促進	販売価格の決定・価格戦略 販売経路の設定・販売経路の強化 販売促進の重要性・広告・販売員活動 ブランド・信用販売・その他販売促進		テキスト 問題集 過去問題

教 科 数 学 科 目 数 学 A

授業科目	数学A	単位数	2単位	履修形態	必修	・ 選択
履修学年	2年	コース	ICT科			
教科書	東京書籍 数学A	副教材	ニュースコープ数A（東京書籍） 練習ドリル数IA（数研）			
授業概要	数学Aでは、皆さんが中学で学んだことを分類し、少し発展させた集合と論理、場合の数と確率、平面図形について学びます。数学全体の基礎でありとても大切な分野で、論理的な見方や考え方を認識できるようにしましょう。					
授業内容 および 到達目標	単 元	目 標			教 材	
一 学 期	場合の数と確率 * 集合 * 場合の数	① 有限集合の要素の表し方を学び、その個数を考える。 ② もれなく、重複のないように樹形図をかいて調べ、順列・組合せに体系化していく。			ニュースコープ 練習ドリル	
	確率 * 確率の基本性質 * いろいろな確率	① 確率の基本性質や計算方法を学びその意味を理解し日常生活に役立てる。 ② 日常生活にありがちな独立試行、期待値の問題を考えていく。			ニュースコープ 練習ドリル	
二 学 期	整数の性質 * 約数と倍数 * 最大公約数と最小公倍数 ユークリッドの互除法と不定方程式 * 除法の性質と整数の分類 * ユークリッドの互除法 * 不定方程式 整数の性質の活用 * 記数法 * 小数と分数	① 倍数の判定法や素因数分解を理解し、それを利用できるようにする。 ② 最大公約数と 最小公倍数を素因数分解と図形の両面で理解できるようにする。 ③ 除法の性質をよく理解し、分類出来るようにする。 ④ ユークリッドの互除法を計算と図形の両面で理解できるようにする。 ⑤ 不定の意味を計算とグラフで理解できるようにする。 ⑥ 2進法と10進法を理解し、小数部分についても計算できるようにする。			ニュースコープ 練習ドリル	
三 学 期	図形の性質 * 三角形の性質 * 円の性質 * 作図 * 空間図形	① 三角形の5心の性質を理解する。 ② 三角形の比の定理を理解する。 ③ 円に関する定理を理解する。 ④ 基本的な作図が出来るようにする。 ⑤ 直線と平面の理解をする。			ニュースコープ 練習ドリル	

教 科 数 学 科 目 数 学 A

授業科目	数学A	単位数	2単位	履修形態	必修・選択
履修学年	高校2年 ICT科	コース	推薦進学コース		
教科書	東京書籍 数学A	副教材	ニュースコープ数A (東書) 練習ドリル数A (数研)		
授業概要	<p>数学Aでは、皆さんが中学で学んだことを分類し、少し発展させた集合と論理、場合の数と確率、整数、平面図形について学びます。数学全体の基礎でありとても大切な分野で、論理的な見方や考え方を認識できるようにしましょう。</p>				
授業内容 および 到達目標	単 元	目 標		教 材	
授業内容 および 到達目標	1 学期	集合と場合の数 * 集合と要素の個数 * 場合の数	① 有限集合の要素の表し方を学び、その個数を考える。 ② もれなく、重複のないように樹形図をかいて調べ、順列・組合せに体系化していく。		ニュースコープ 練習ドリル
		確率 * 確率の基本 * 独立な試行 * 条件付き確率	① 確率の基本性質や計算方法を学びその意味を理解し日常生活に役立てる。 ② 日常生活にありがちな独立試行、期待値の問題を考えていく。		ニュースコープ 練習ドリル
	2 学期	整数の性質 * 約数と倍数 * 整数の性質の活用	① 倍数判定法を覚える。 ② 素因数分解を用いて、公倍数と公約数を活用する。 ③ n進法を理解する。 ④ 分数進数法を計算できる。		ニュースコープ 練習ドリル
3 学期	図形の性質 * 三角形の性質 * 円の性質	三角形の比の定理を理解する。 円に関する定理を理解する。		ニュースコープ 練習ドリル	

教 科 数 学 科 目 数 学 A

授業科目	数学A	単位数	2単位	履修形態	必修・選択
履修学年	高校2年 ICT科	コース	ビジネスコース		
教科書	東京書籍 数学A	副教材	ニュースコープ数A (東書) 練習ドリル数A (数研)		
授業概要	<p>数学Aでは、皆さんが中学で学んだことを分類し、少し発展させた集合と論理、場合の数と確率、整数、平面図形について学びます。数学全体の基礎でありとても大切な分野で、論理的な見方や考え方を認識できるようにしましょう。</p>				
授業内容 および 到達目標	単 元	目 標		教 材	
授業内容 および 到達目標	1 学期	集合と場合の数 * 集合と要素の個数 * 場合の数	① 有限集合の要素の表し方を学び、その個数を考える。 ② もれなく、重複のないように樹形図をかいて調べ、順列・組合せに体系化していく。		ニュースコープ 練習ドリル
		確率 * 確率の基本 * 独立な試行 * 条件付き確率	① 確率の基本性質や計算方法を学びその意味を理解し日常生活に役立てる。 ② 日常生活にありがちな独立試行、期待値の問題を考えていく。		ニュースコープ 練習ドリル
	2 学期	整数の性質 *約数と倍数 *整数の性質の活用	① 倍数判定法を覚える。 ② 素因数分解を用いて、公倍数と公約数を活用する。 ③ n進法を理解する。 ④ 分数進数法を計算できる。		ニュースコープ 練習ドリル
3 学期	図形の性質 * 三角形の性質 * 円の性質	三角形の比の定理を理解する。 円に関する定理を理解する。		ニュースコープ 練習ドリル	

教科 保健体育

科目 体育

授業科目	体育	単位数	2単位	履修形態	○必修 ・ 選択
履修学年	高校2年 ICT科	コース	全コース		
教科書	なし	副教材	アクティブスポーツ 大修館書店		
授業概要	運動を通して知識を深めるとともに技能を高め、体力の向上を図り、生涯スポーツの実現を目指す。				
授業内容 および 到達目標	単 元	目 標			教 材
	1 学 期	体育理論	スポーツの文化的特性について理解できるようにする。		
		体ほぐし運動	運動を通して、自己の体に関心を持ち、自分や仲間 の状態に気づくことができるようにする。		
		新体力テスト	持久走を含む8種目 Aランクを目標		
		水泳	自由形・平泳ぎ・背泳ぎの3泳法の個々の能力の 向上を図る。		
		バスケットボール	ドリブル、パス、シュートにおける個々の能力の 向上を図る。		
	2 学 期	ダンス	創作を通じて仲間との交流を図り、楽しさをより 強く表現できるようにする。		
		器械運動	柔軟性を高めていくことを目指す。ほん転系の技 を正しい姿勢でできるようにする。		
		体育理論	スポーツの文化的特性について理解できるように する。		
		新体力テスト	持久走を含む8種目 Aランクを目標		
	3 学 期	サッカー	パス、ドリブル、シュートの技術の向上を図り、 安全な試合展開ができるようにする。		
		武道	基本的な技術を身につけ、試合での勝敗を競い合 う楽しさや喜びを味わう。		

教科 保健体育

科目 保健

授業科目	保健		単位数	1 単位	履修形態	○必修 ・ 選択
履修学年	高校 2 年		コース	全コース		
教科書	現代保健体育（大修館書店）		副教材	現代保健ノート（大修館書店）		
授業概要	<p>私達の身体と心は年齢と共に変化している。健康の為に私たちや社会のなすべき事も同様に变化する。ここでは、思春期から中高年期までの健康に関わる事や、各年齢層で必要な保健・医療サービスの活用などを学習させる。又、健康で生きていく上で私達を取り巻く自然環境、また社会制度や活動などが深く関わっており、個人の努力とが組み合わさって健康が実現する。健康に関する環境・食品の問題や働く事と健康との関連について、学習させたい。</p>					
内容		単 元	目 標		教 材	
および 到達目標	1 学 期	生涯を通じる健康	思春期の身体と心の健康を理解させる。		生涯の各段階 における健康 P C 使用	
			性意識の男女差・性的欲求・性行動について知る。			
			心身の発達と健康な結婚生活を理解させる。			
	2 学 期		受精・妊娠・出産について知る。		性についての 話し合い 保健・医療制 度及び地域の 保健・医療機 関	
			家族計画と避妊法について理解させる。			
			加齢と健康について知る。			
			高齢者の保健・医療・福祉について理解させる。 (医療制度を含む)			
	3 学 期	社会生活と健康	食品と環境の保健について		環境と健康 P C 使用	
			大気汚染・水質汚濁・土壌汚染と健康被害について			
			公害について調査			
			健康被害の防止と環境対策を知る。		労働と健康	
			労働災害・職業病について			

教 科 理 科 科 目 化学基礎

授業科目	化学基礎	単位数	2 単位	履修形態	必修
履修学年	2 年	コース	ICT 科		
教科書	東京書籍 新編 化学基礎	副教材	浜島書店 ステップノート化学基礎		
授業概要	化学基礎で学習する内容が、身の回りでどのようなことに利用されているのか探求します。また、実験や ICT 教材を活用して、実感できる授業にします。				
授業内容 および 到達目標	単 元	目 標		教 材	
1 学 期	1 編 物質の成り立ち	物質の構成や結合、周期表について理解する。		気体 ナトリウム 塩素	
2 学 期	2 編 物質の変化	物質質量と化学変化の量的関係を理解する。 酸と塩基水素イオン濃度と pH を理化したり、中和反応式をつくったりすることができる。		塩酸 水酸化ナトリウム アンモニウム 洗剤	
3 学 期	2 編 3 章 酸化と還元	酸化還元反応を電子の授受に基づいて理解する。		銅 鉛 電池	